

令和8年度

経営力育成セレクト研修の概要



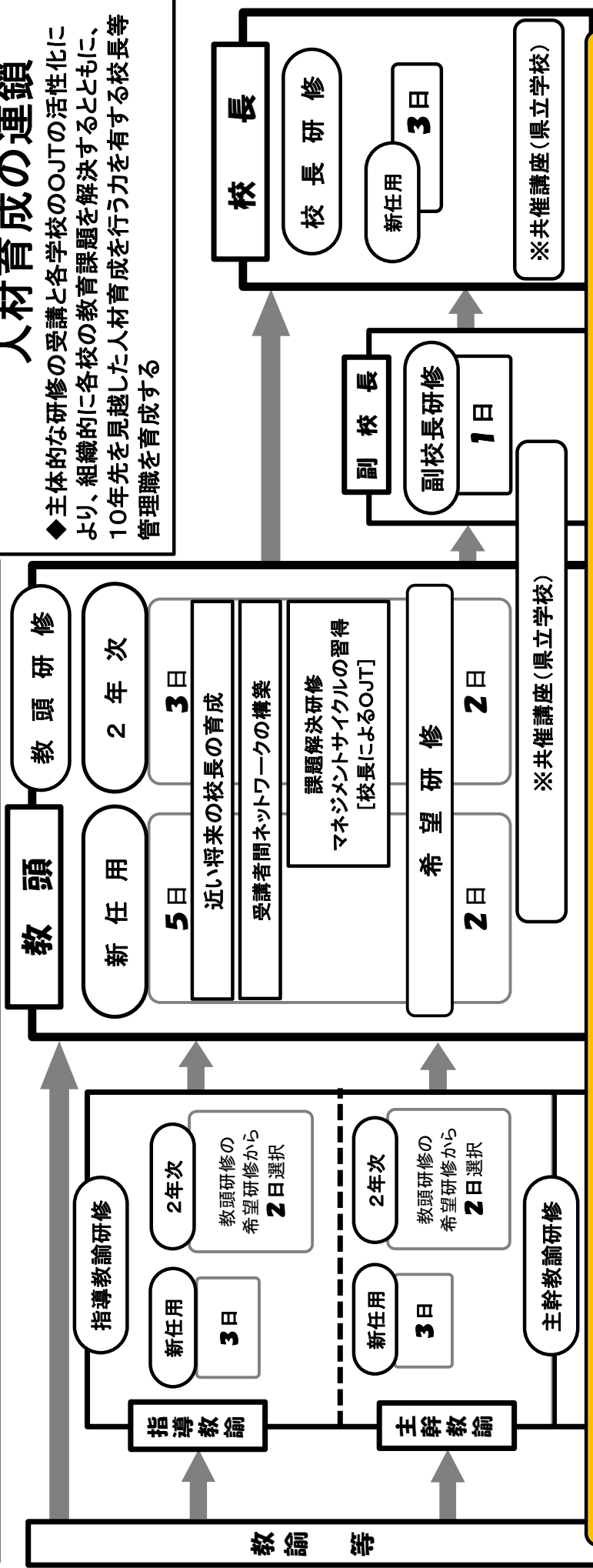
高知県教育センター

目 次

| | | |
|-----------------|-------|----|
| ●管理職等研修体系 | | 1 |
| ●実施要項 | | 2 |
| ●研修講師のプロフィール | | 8 |
| ●研修受講にあたっての留意点 | | 11 |
| ●教育センター等の利用について | | 12 |

管理職等研修体系:

主幹教諭から校長まで段階的・体系的にマネジメント力の強化を図る、学校組織マネジメントと人材育成を柱とするプログラム



教育課題の解決と

人材育成の連鎖

◆主体的な研修の受講と各学校のOJTの活性化により、組織的に各校の教育課題を解決するとともに、10年先を見越した人材育成を行う力を有する校長等管理職を育成する

経営力育成セレクト研修(マネジメント力の向上と今日的課題への対応)

【指導教諭研修・主幹教諭研修】〔2年間〕

- 新任用・2年次の2年間で5日間の研修
- 2年次は教頭研修の希望研修(新任用2・3・2年次3・4)から2日選択して受講
- キャリアやニーズに応じ経営力育成セレクト研修の全講座(校長研修の一部を除く)を受講可能

【教頭研修】〔2年間〕

- 新任用・2年次の2年間で指定研修8日、希望研修4日
- 希望研修については、自身の力量や経験等から判断し、校長に相談のうえ、受講を決定
- キャリアやニーズに応じ経営力育成セレクト研修の全講座(校長研修の一部を除く)を受講可能
- 自校で学校組織マネジメントの実践(校長によるOJT)を通して学ぶ「課題解決研修」を2年次に実施

【副校長研修】〔1年間〕

- 新任用時に1日の研修

【校長研修】〔1年間〕

- 新任用時に3日間の研修

経営力育成セレクト研修（研修コード311）実施要項

- 1 目的 学校組織マネジメントに関する理論や実践について研修を行うとともに、教育課題の解決や人材育成に必要な専門性等に関する研修を通して、学校経営のリーダー及びキーパーソンとして必要な実践的指導力の向上を図る。
- 2 対象 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任の希望者、10年経験以上の教諭で校長の推薦がある者（各研修の「研修対象」を参照すること）

3 申込方法、申込締切

受講希望者本人が、**所属長の許可を受けた後**、「全国教員研修プラットフォーム:Plant（プラント）」から、各自で申し込んでください。

遠隔教育システムを使用した研修における研修会場については、下記のとおり高知県教育センターを本会場とし、サテライト会場として高知県立中芸高等学校、高知県立大方高等学校を使用します。受講する会場については、**必ず所属長の許可を得たうえで**、プラントの申し込み時に「**申し送り事項**」欄へ**受講希望会場を記載**してください。

なお、研修申し込み後に事情により研修会場の変更が必要になった場合は、受講者本人が所属長の許可を得て、速やかに研修担当あてに連絡ください。

申し込みの締切は、研修開催日の1か月前、16:30 までとします。ただし、研修1のみ、研修開催日の2週間前、16:30 までとします。

| | | |
|--------------|------------------------|---------------------|
| 【高知県教育センター】 | 〒781-5103 高知市大津乙181 | TEL 088-866-3890（代） |
| 【高知県立中芸高等学校】 | 〒781-6410 安芸郡田野町1203-4 | TEL 0887-38-2914 |
| 【高知県立大方高等学校】 | 〒789-1931 幡多郡黒潮町入野5507 | TEL 0880-43-1079 |

4 欠席等の対応について

申し込み後の欠席は原則として認められません。ただし、やむを得ない理由が生じた場合には、以下の【連絡の流れ】のとおり、速やかに**高知県教育センターへ電話連絡のうえ、グループウェアのメッセージにて、教育センター管理職・マネジメント研修担当アカウントまで連絡**してください。

【連絡の流れ】

| | |
|-----|---|
| 小・中 | 校長 → 市町村教育委員会 担当者 → 県教育センター管理職・マネジメント研修担当 |
| 県立 | 管理職 → 県教育センター管理職・マネジメント研修担当 |

5 旅費について

経営力育成セレクト研修については、旅費の支給はありません。

6 その他

研修を受講するにあたっての留意点については、11ページをご確認ください。

7 研修等の問い合わせについて

管理職等研修の担当は次のとおりですので、ご不明な点等のお問い合わせは、下記までお願いします。

高知県教育センター（〒781-5103 高知市大津乙181）
 専門研修部（管理職・マネジメント研修担当）
 代表 088-866-3890 直通電話 088-866-7383

○ 期日、会場、日程及び内容等 (※サテライト会場：□中芸高等学校 ■大方高等学校)

会場、日程等詳細については、「令和8年度管理職等研修の概要」の該当する合同実施の研修を参照してください。(「令和8年度管理職等研修の概要」冊子は高知県教育センターホームページからダウンロードできます。なお、下記表の「頁」は「令和8年度管理職等研修の概要」の該当ページ数となります。)

各研修欄の下部に、昨年度の受講者の学びの声もしくは、新しく設定した研修については研修内容の予定を紹介しています。参考にご覧ください。

| | 日時 | 研修内容等 | 合同研修 | 頁 |
|---|-------------------------|--|------------------------------------|-----------------|
| 1 | 4月28日(火) 13:30~16:00 | 講義・演習「生き抜く力を育むこれからの学校安全」 土佐市教育委員会 教育長 吉門 直子 | 新任用指導 教諭研修 1 新任用主幹 教諭研修 1 | P11 ・ P14 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭 (要推薦) | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭として、突発的な事態が起こったときに適切に対応することができるように日頃から危機事象を想定し、情報収集を行いたいと感じた。そのためにまず自分ができることとして、帰校後すぐに『雷ナウキャスト』を常に見られるように設定した。 ・子どもたちの命を守り、教職員が安心して教育活動を行うことができるようにするため、主幹教諭という視点から学校を俯瞰し、学校経営の一端を担っていけるよう自己研鑽をしていきたい。 | | |
| 2 | 5月25日(月) 10:30~12:30 | 講義「校長職とマネジメント」 元高知商業高等学校 校長 岡崎 伸二 | 新任用校長 研修 1 | P27 |
| | 研修対象 | 校長 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・セルフマネジメント、リスクマネジメント、組織マネジメントについて、具体的な事例を基にポイントを分かりやすく示していただき、校長としての視点や基本姿勢がよく分かった。 ・様式改革→行動改革→学校改革→意識改革へと改革を進めていくこと、そのために文書の全様式を共通化するという部分でも、今後の取組の参考にしていきたい。 | | |
| 3 | 5月25日(月) 13:30~16:00 | 講義・演習 「信頼される学校づくり～学校のコンプライアンス～」 弁護士法人 俵法律事務所 弁護士 植村 礼大 | 新任用校長 研修 1 | P27 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事に対する学校としての初期対応や法的対応について、具体的に説明をしていただいたので、とても分かりやすかった。 ・学校長として不祥事の初期対応は、不祥事が大きくなるか小さくなるかの分かれ道であることや不祥事防止についても具体的なアドバイス等があり、不祥事防止への意識が高まった。 | | |
| 4 | 6月9日(火) 9:30~12:00 | 講義・演習「ファシリテーションを活用する～普段の 会議・授業づくりから学校・学級経営まで～」 教育ファシリテーション研究所 所長 法政大学教育開発支援機構 講師 三田地 真実 | 新任用教頭 研修 2 | P18 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭 (要推薦) | | |
| | 研修会場 | 所属校 (ライブ配信) | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・「会議を活性化するための10のステップ」を参考に、「考えて、書いて、話す」というプロセスを通すことで、会議が意味ある場になるということが分かった。 ・ファシリテーターが、自分の意見や考えを伝えたくなくなる気持ちを抑え、相手の気持ちを受け入れ参加者の意見をしっかりと聞くことが、自身が話すこと、方向づけることよりも重要であることを学んだ。 | | |

| | 日時 | 研修内容等 | 合同研修 | 頁 |
|----------|---|---|--------------|-----|
| 5 | 6月19日(金) 13:00~16:00 | 講義・演習「組織マネジメントの実践」 SANBRAIN会計事務所 代表 株式会社NOBASE 代表取締役 馬醫 光明 | 新任用副校長 研修 | P25 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭（要推薦） | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・責任感を言動で示しつつ、第2領域思考としての教職員の人間関係づくりを大事に風通しの良い職場を形成し、保護者の期待に応えられる学校の特色化を図ることを進めたいと思う。 ・「やりたいこと、できること、すべきこと」を時間軸とレベル軸で整理することで、仕事の満足感が生まれるということ、グループ協議のワークの中で感じ取ることができた。 | | |
| 6 | 7月3日(金) 9:30~12:00 | 講義・演習「学校組織で推進するAI時代のデジタル・シティズンシップ教育」 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事 国際大学GLOCOM 客員研究員 今度 珠美 | 新任用校長 研修2 | P28 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、■大方高等学校 | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・シティズンシップ教育は、これからの社会を生きる子どもたちには、不可欠の教育であり、9年間を見通した学習が必要であることを実感した。 ・「ネットの発信」や「責任のリング」、「オンラインで行動するときの3つのステップ」は教職員の不祥事防止に活用できると思った。 | | |
| 7 (新) | 7月3日(金) 13:00~14:30 | 講義・演習 「いじめ・不登校対策～重層的な支援体制の構築～」 高知県教育委員会 人権教育・児童生徒課 | 新任用校長 研修2 | P28 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、■大方高等学校 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等を生じさせないために、日常の教育活動を通じて発達支持的生徒指導の視点を意識した魅力ある学校づくりを組織的に推進するためのポイントを整理します。また、いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針等に基づく対応、重大事態への対応について学校が特に留意すべき点を具体的に提示し、考察することで、いじめの防止及び適切な対応に関する資質の向上を図ります。 | | | |
| 8 (新) | 7月3日(金) 14:40~16:00 | 講義「新学習指導要領の方向性（予定）」 文部科学省 | 新任用校長 研修2 | P28 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、■大方高等学校 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の次期改訂を見据え、文科省担当者（予定）が最新の議論から、「主体的・対話的で深い学び（Excellence）」やその方向性である「多様性の包摂（Equity）」、「実現可能性の確保（Feasibility）」を支える教育課程の在り方と将来の方向性を解説します。 | | | |
| 9 | 7月6日(月) 9:30~12:00 | 講義・演習「特別支援教育（発達障害と二次障害）」 教育ジャーナリスト 株式会社薫化舎 取締役副会長 品川 裕香 | 新任用教頭 研修3 | P18 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭（要推薦） | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、■大方高等学校 | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感だけでなく、自己効力感を高めていくこととセルフコントロール力を身に付けていくことが重要であることが分かった。また、不登校や引きこもりについては、「社会的役割の獲得」が必要であることも理解できた。 ・診断名から対応していくのではなく、子どもから何気なく聞いていた食事のことや睡眠などが認知機能にも影響する可能性があることから、そういった面からも生徒へアプローチできればと感じた。 | | |

| | 日時 | 研修内容等 | 合同研修 | 頁 |
|----|--|---|----------------------------------|-----------------|
| 10 | 7月6日(月) 13:00~16:00 | 講義・演習 「多様な背景をもつ児童生徒の理解と支援 (LGBTQ+)」 鳴門教育大学大学院 教授 葛西 真記子 | 新任用教頭 研修3 | P18 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭（要推薦） | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、■大方高等学校 | | |
| | <p>・私自身にも何かしらのマイノリティはあり、内に秘めたしんどさや悩みをたくさん抱えて生きている。他のマイノリティを自分事として捉えるという考え方はとても印象に残った。</p> <p>・今後、(LGBTQ+について) 児童、保護者、職場にどのように対応していけば良いか明確になった。事例をたくさん紹介してもらえて良かった。</p> | | | |
| 11 | 8月24日(月) 9:30~12:00 | 講義・演習「学校組織による危機管理」 鳴門教育大学 客員教授 阪根 健二 | 任用2年次 教頭研修2 | P22 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | <p>・保護者は自分の成育歴から今を考えるとという内容は、新たに気づいた点で、今後の保護者対応について自分自身の観念や概念を考え直すきっかけになった。</p> <p>・「事務職員は法的、財政的な危機管理を教員に助言する立場である」ということを活用し、事務職員と連携を深め、的確な危機予測ができるよう頑張りたい。</p> | | | |
| 12 | 9月11日(金) 9:30~12:00 | 講義・演習「校内研修の課題と可能性」 大妻女子大学 教授 澤井 陽介 | 新任用指導 教諭研修2 新任用主幹 教諭研修2 | P12 ・ P15 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、10年経験以上の教諭（要推薦） | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | <p>・学校の教育目標実現には、やるべきことはたくさんあり、それを精査することが難しいと感じていた。目指す子どもの姿から重点目標を三つに絞り、目標達成のために必要なものは何かという視点で精査し、スクラップアンドビルドを行うという話を聞け、早速準備をしていきたいと思った。</p> <p>・主幹教諭として今後校内研修を企画する際、どのようにして学校全体の先生方を巻き込み、自分事として主体的に参加してもらおうかが課題であるが、そのヒントとなる情報をたくさん得ることができた。</p> | | | |
| 13 | 9月11日(金) 13:00~16:00 | 講義・演習 「教職員がチームワークを生み出す学校づくり」 愛媛大学大学院 教授 露口 健司 | 新任用指導 教諭研修2 新任用主幹 教諭研修2 | P12 ・ P15 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭（要推薦） | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | <p>・最も印象に残ったのは「働きがいのある教師が子どもを幸せにできる」という言葉だ。働きがいをもって仕事をしている同僚が少しでもしんどい思いをしないように、コミュニケーションをとってよい職場環境にしていきたいと思った。</p> <p>・自校に不登校生徒がおり、欠席が続いている現状がある。学校に気持ちが向き、足が少しでも向かうような働きかけや家庭との連携、関係機関との連携・調整など今一度校内で確認していきたいと感じた。</p> | | | |

| | 日時 | 研修内容等 | 合同研修 | 頁 |
|----|---|---|----------------------------------|-----------------|
| 14 | 9月14日(月) 9:30~12:00 | 講義・演習「デジタル社会における学校組織マネジメント (働き方改革)」 愛媛大学大学院 教授 露口 健司 | 任用2年次 教頭研修3 | P23 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭(要推薦) | | |
| | 研修会場 | 所属校(ライブ配信) | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善なしの単なる勤務時間の削減だけではなく、働きがいも含めて考えていかなければならないことがエビデンスとともに示してくださったので納得できた。 ・働き方改革には、管理職の適切な評価や支援が必要なことも学んだので、コミュニケーションを取りながら、適切なフィードバックをしていくことを心がけていきたい。 | | | |
| 15 | 9月14日(月) 13:00~16:00 | 講義・演習「地域とともにある学校づくり~コミュニティ・ スクールをいかしたマネジメント~」 国立教育政策研究所 総括研究官 志々田 まなみ | 任用2年次 教頭研修3 | P23 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭(要推薦) | | |
| | 研修会場 | 所属校(ライブ配信) | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「連携が求められているからやる」という意識でしかなかったが、これをきっかけに地域連携の「目的」を改めて考えるべきだと感じた。 ・「押し付けるのではなく、郷土へ向き合う姿勢(行為)を生徒に伝えていく」というのがとても新鮮で腑に落ちた。 | | | |
| 16 | 10月5日(月) 9:30~16:00 | 講義・演習「危機を管理する教頭の役割」 九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 元兼 正浩 | 新任用教頭 研修6 | P20 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理は「(危機を)0にするのではなく手のひらにのせること」、「よい学校は課題がない学校ではなく課題を共有している学校」という言葉がまさに重要だと感じた。 ・管理職の仕事は「先生方のモチベーションを管理する」こと。そのために「言葉」を磨き、エビデンスを用意し、VISIONを明確にする必要があると確認できた。 | | | |
| 17 | 10月29日(木) 13:00~16:00 | 講義・演習「時代の変革に伴う学校改善・授業改善」 京都大学大学院 准教授 石井 英真 | 任用2年次 教頭研修4 | P23 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、10年経験以上の教諭(要推薦) | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、□中芸高等学校、■大方高等学校 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・荒れている状況から落ち着かせたあとに授業改善を行うのではなく、荒れている状況だからこそ授業改善を学校全体で行っていくという話に感銘を受けた。 ・目標に対してイメージが必要であり、教職員で具体的な風景を共有することが大切であり、出口の子どもの姿を具体的に全員で緩やかに共有することでベクトルがそろうと思った。 | | | |
| 18 | 11月19日(木) 9:30~12:00 | 講義・演習「特別支援教育の理解」 教育センター | 新任用指導 教諭研修3 新任用主幹 教諭研修3 | P12 ・ P15 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任、 10年経験以上の教諭(要推薦) | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動や基礎的環境整備について、学校全体でもっと真剣に考えて取り組んでいく必要があることを実感した。また、充実した自立活動の実施についても管理職としっかりと分析し、適正に学びの場の提供を行っていきたい。 ・特別支援学級における自立活動の役割や現状、課題について自校の取組も含めて考えるきっかけになった。 | | | |

| | 日時 | 研修内容等 | 合同研修 | 頁 |
|----|--|---|----------------|-----|
| 19 | 12月11日(金) 9:30~14:00 | 講義「チーム学校の実現に向けて（特別支援教育の理解と学校組織マネジメントの実践）」 国立舞鶴工業高等専門学校 特命教授 特別支援教育士スーパーバイザー 後野 文雄 | 新任用校長 研修3 | P28 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、■大方高等学校 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・医学的な説明は大変分かりやすく、発達障害のある児童の出すサインについても詳しく教えていただいたことは、児童の行動観察をする際に大いに役立てることができると思った。 ・特別支援教育を学校の中心に置くことが、一人一人の適切な支援につながり、教育全体をユニバーサルにしていくことが大切であることも再確認できた。 | | | |
| 20 | 12月17日(木) 9:30~12:00 | 講義・演習「管理職の仕事力と人間力」 高知県文教協会 顧問 垣内 守男 | 新任用教頭 研修7 | P20 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター、□中芸高等学校、■大方高等学校 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・RPDCAを回していく際、いかに課題を掘り下げるか、現象の根っこの部分（本質）をしっかりと見据えることが重要であると学んだ。 ・自己啓発を妨害する上司の三項目は、まさに今の自分を表しているように思った。環境や条件のせいにせず、指を自分に向け謙虚に自己に問う管理職でありたい。 | | | |
| 21 | 1月22日(金) 13:15~16:00 | 講義・演習「学校組織の機能化・活性化」 環太平洋大学 教授 浅野 良一 | 任用2年次 教頭研修5 | P24 |
| | 研修対象 | 校長、副校長、教頭 | | |
| | 研修会場 | 高知県教育センター | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・組織がより活性化するためには、機能的側面と共同体的側面の両面が充実する必要があることが分かり、来年度の取組を検討する際の参考になった。 ・校長のビジョンの構成要素を理解し、教職員にどう分かりやすく伝えていくのか。教頭としてきちんと翻訳して伝えられていなかったことに気づくことができた。 | | | |

研修講師のプロフィール

★経営力育成セレクト研修 3 の講師

植村 礼大 (うえむら あやひろ) 弁護士法人 俵法律事務所 弁護士

京都大学法学部を卒業後、俵法律事務所所属弁護士として活躍。各種講師を務め、当教育センターの研修においても、セクハラ・パワハラ・いじめ・体罰等、学校における不祥事案の防止等について、裁判事例等をもとに教職員の義務・責任とは何か、専門的な見地から具体的な話をしていただき好評を得ている。

★経営力育成セレクト研修 4 の講師

三田地 真実 (みたち まみ) 教育ファシリテーション研究所 所長
法政大学教育開発支援機構 講師

教育学博士、言語聴覚士。米国オレゴン大学教育学部博士課程修了 (Ph.D.)。専門は応用行動分析学 (ABA)、ファシリテーション、コミュニケーション障害学。特に教育や福祉・医療現場に ABA・ファシリテーションを広める活動を行っている。令和5年3月まで星槎大学大学院教授として勤務。令和6年12月より独立行政法人教職員支援機構フェロー。日本行動分析学会評議員。日本ポジティブ行動支援ネットワーク顧問。独立行政法人教職員支援機構の実践力向上シリーズでファシリテーションの動画が公開されている。

★経営力育成セレクト研修 6 の講師

今度 珠美 (いまだ たまみ) 一般社団法人メディア教育研究室 代表理事
国際大学GLOCOM 客員研究員

一般社団法人メディア教育研究室代表理事、国際大学 GLOCOM 客員研究員、文部科学省中央教育審議会教育部会専門委員 (情報・技術 WG)、関西大学大学院博士課程後期課程在学中。研究領域はデジタル・シティズンシップ教育、メディアリテラシー教育、人権教育等。年間 150 校近い国内外の学校を周り指導助言、授業、講演などを行う。Forbes JAPAN テクノロジー領域で世界を変える女性 30 人「Women In Tech 30 2026」に選出。

★経営力育成セレクト研修 9 の講師

品川 裕香 (しながわ ゆか) 教育ジャーナリスト・株式会社 薫化舎 取締役副会長

雑誌・書籍の編集者を経て、ジャーナリストとして独立。いじめ・不登校・虐待の問題から、LD・ADHD・ASD など特別支援教育、非行などの矯正教育と様々な分野について、国内外を問わず精力的に取材し、子ども・保護者・教師・支援者たちの思いを多角的にとらえた執筆・翻訳・講演活動を展開。発達性ディスレクシアや学習障害など読み書き困難のある子ども・若者に言語指導、英語指導などを 20 年以上続けている。近年は、発達障害や知的障害のある児童生徒の性被害予防・回復支援などの活動にも力を入れている。京都市教育委員会支援の必要な子どもプロジェクトチーム委員、元文部科学省中央教育審議会教育課程特別支援教育部会委員など公職多数。発達性ディスレクシア研究会常任理事、日本 LD 学会国際委員会委員。

★経営力育成セレクト研修 10 の講師

葛西 真記子 (かさい まきこ) 鳴門教育大学大学院 教授

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程 (前期)、University of Missouri, Columbia カウンセリング心理学博士課程修了 (Ph.D. 取得)。ジェンダーとセクシュアリティに関する研究や実践を行っており、国内では日本心理臨床学会、日本精神分析学会、国外ではアメリカ心理学会、ヨーロッパの心理学会でも発表し海外の研究者との研究も盛んに行っている。SAG 徳島 (徳島県のセクシュアル・マイノリティ活動団体) 代表。

★経営力育成セレクト研修 11 の講師

阪根 健二（さかね けんじ）鳴門教育大学 客員教授

香川県内の中学校、香川県教育委員会事務局、香川大学の勤務を経て、平成20年度より鳴門教育大学大学院准教授、平成23年度より同大学院教授、令和2年度より客員教授。現在、広島大学大学院客員教授、香川県教育文化研究所所長も兼務。研究領域は学校危機管理、生徒指導、NIE（新聞活用教育）など幅広く、全国各地で講演を行っている。

★経営力育成セレクト研修 12 の講師

澤井 陽介（さわい ようすけ）大妻女子大学 教授

民間企業勤務を経て、東京都内の公立小学校教諭、指導主事等を務め、平成21年から文部科学省で教科調査官、平成28年に同視学官を歴任。平成30年に国土館大学教授、令和4年より大妻女子大学家政学部児童学科教授となり、令和6年から同大学大学院人間文化研究科人間生活科学専攻の教授を併任している。専門は社会科教育、教育学、教育課程論で、教育者の指導力向上や効果的な授業づくりに関する知見を提供し、教育現場での実践に寄与している。

★経営力育成セレクト研修 13・14 の講師

露口 健司（つゆぐち けんじ）愛媛大学大学院 教授

九州共立大学経済学部助教授を経て、平成20年度より愛媛大学教育学部准教授、平成28年度より同大学大学院教育学研究科教授。リーダーシップ、学校と保護者の信頼関係の構築、ソーシャル・キャピタル、ウェルビーイング、学校改善などをテーマにした研究実績は高く評価されている。国立教育政策研究所フェロー。独立行政法人教職員支援機構フェロー。中央教育審議会臨時委員。

★経営力育成セレクト研修 15 の講師

志々田 まなみ（ししだ まなみ）国立教育政策研究所 総括研究官

平成21年から広島経済大学経済学部准教授、平成27年から同大学経済学部教授を経て、平成29年より文部科学省国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官。専門は生涯学習、社会教育、地域学校協働活動、コミュニティ・スクール。特に、「地域とともにある学校づくり」において、地域学校協働活動推進員が果たす役割や、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進に関する研究を推進。研究成果を教育現場や行政施策に還元している。東京都生涯学習審議会委員副委員長、日本生涯教育学会常任理事、日本学習社会学会理事。

★経営力育成セレクト研修 16 の講師

元兼 正浩（もとかね まさひろ）九州大学大学院 教授

平成15年から九州大学大学院人間環境学研究院（教育学部門）助教授、同大学院准教授、平成25年より同大学院教授。令和4年度から令和5年度まで九州大学韓国研究センター長。現在は、日本教育学会理事、日本教育経営学会会長、九州教育学会会長、九州教育経営学会会長、福岡県教育振興審議会委員などを務め、校長人事を中心テーマとし、学校マネジメント支援から自治体教育政策にまで、幅広く関わる。本県教育においては、令和元年度「学校組織の在り方検討委員会」の委員長として、本県の学校組織のあるべき姿や課題改善のための方向性等をご教示いただいた。

★経営力育成セレクト研修 17 の講師

石井 英真 (いしい てるまさ) 京都大学大学院 准教授

日米のカリキュラム研究、授業研究の蓄積に学びながら、学校で育成すべき資質・能力の中身をどう構造化・モデル化し、それらを実質的に実現しうるカリキュラム、授業、評価、教師教育をトータルにどうデザインしていけばよいのかを発信している。日本教育学会理事。日本教育方法学会理事。日本カリキュラム学会理事。文部科学省中央教育審議会「教育課程部会」「児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ」委員などを務めている。

★経営力育成セレクト研修 19 の講師

後野 文雄 (ごの ふみお) 国立舞鶴工業高等専門学校 特命教授
特別支援教育士スーパーバイザー

京都府の小学校教諭、平成4年から京都府総合教育センターの特別支援教育部指導主事、教育相談部チーフを経て、平成6年から京都府内の公立中学校教頭、平成9年からは、小・中学校の校長を歴任。退職後、多様な勤務経験と研究内容を生かし、平成27年度末まで京都教育大学客員教授、平成28年度からは、NHK「こどもの発達相談会」専任講師、国立舞鶴工業高等専門学校修学支援室特命教授として、現職教員等への指導・支援にあっている。

★経営力育成セレクト研修 21 の講師

浅野 良一 (あさの りょういち) 環太平洋大学 教授

民間企業勤務後、産業能率大学入職。経営管理研究所主任研究員を経て、平成19年から兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授。令和6年に名誉教授。現在、環太平洋大学次世代教育学部教授。専門は、組織マネジメント、人事組織管理、人材育成。これまでに文部科学省のマネジメント研修カリキュラム等開発会議協力者、中央教育審議会初等中等教育分科会行財政部会専門委員。現在、大阪府、岡山県、鳥取県、大分県、埼玉県等の各種委員を務める。また、独立行政法人教職員支援機構で中央研修の講師を担当している。

研修受講にあたっての留意点

○研修会場について

遠隔教育システムを使用した研修における研修会場については、下記のとおり高知県教育センターを本会場とし、サテライト会場として高知県立中芸高等学校、高知県立大方高等学校を使用します。受講する会場については、**必ず所属長の許可を得たうえで**、プラントの申し込み時に「**申し送り事項**」欄へ**受講希望会場を記載**してください。

なお、研修申し込み後に事情により研修会場の変更が必要になった場合は、受講者本人が所属長の許可を得て、速やかに研修担当あてに連絡ください。

【高知県教育センター】 〒781-5103 高知市大津乙 181 TEL 088-866-3890 (代)

【高知県立中芸高等学校】 〒781-6410 安芸郡田野町 1203-4 TEL 0887-38-2914

【高知県立大方高等学校】 〒789-1931 幡多郡黒潮町入野 5507 TEL 0880-43-1079

<各研修会場に関する注意事項>

高知県教育センター及びその他の研修会場については、12～14 ページの各会場の利用について等をご確認ください。

<ライブ配信研修の受講について>

ライブ配信研修については、所属校等での研修となります。受講にあたっては、空き教室や会議室を利用するなど、研修に集中できる環境を整えたうえで、対面研修と同じように研修に専念してください。

○研修等の中止について

研修等会場の所在する地域に、当日**午前6時**（午後開催の場合は**午前9時**）の時点で「**大雨特別警報**」、「**暴風特別警報**」、「**暴風警報**」のいずれかが発令されている場合は、その日の研修を**中止**します。そのほか、台風や悪天候等により**中止する場合は**、研修等主管課ホームページにてお知らせします。

研修中止にならない場合でも、居住地域や通勤地域等の状況に注意し、**安全を第一に考えた行動**をとってください。※新たな防災気象情報の運用が開始されましたら、警戒レベル等を修正します。

○研修における合理的配慮の提供について

受講に際して、**合理的配慮の提供**（情報保障、座席の配慮、移動支援、トイレの配慮等）が必要な場合は、**研修の1か月前までに**、市町村（学校組合）立学校は校長及び当該市町村（学校組合）教育委員会を通じて、県立学校は校長を通じて、高知県教育センター専門研修部管理職・マネジメント研修担当まで連絡してください。（TEL：088-866-7383）

教育センターの利用について

★避難経路

- ◇3F大研修室 … 研修室北面の中ほどの非常階段、東階段、又はテラスの救助袋
- ◇3F各研修室 … 東西の階段、又はテラスの救助袋
- ◇2F各研修室 … 東西の階段
- ◇2F図書館・教科研究センター … 北側の中ほどの非常階段、又は東階段
- ◇1F各研修室 … 出口は、5か所（正面（西端）・西階段北・西階段南・東階段南・東端）

※緊急地震速報が発報されたとき

- ・揺れに備えてください。
- 揺れが収まったら避難準備をしてください。
- ・避難時は、教育センター職員の指示に従ってください。

＜避難場所＞

教育センター4階屋上

※教育センターは高知市の指定緊急避難場所に指定されています。



高知市津波避難マップ「大津小学校区」
第2版(令和元年12月)より

★AEDの設置場所

- ・正面玄関ホール及び3階大研修室に、1機ずつ設置しています。

★研修中

- ・所属等からの緊急連絡は、教育センター（088-866-3890）へお願いします。
- ・携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ペットボトルや水筒等は、鞆等に収納してください。
- ・消しゴムかすは、研修室内の指定された所（箱）に捨ててください。

★情報端末及び記録媒体

- ・以下の留意点を踏まえたうえで、原則、使用可能です。

＜留意点＞

- ①公用の情報端末は、管理職の持出許可がある場合に限ります。
- ②録音、動画・静止画の撮影、資料の複写は、講師の許可がある場合のみ可能です。
- ③情報漏洩等、情報モラルについて厳守してください。

★昼食

- ・ご利用の研修室（自席）を使用してください。空き箱等はお持ち帰りください。

★自家用車等の利用

- ・出入りの際は、正門手前で、必ず一時停止し、左右確認をお願いします。
- ・正門から電車通りまでは、徐行運転で一般の方を優先してください。
また、一時停止場所が数か所あります。停止ラインで必ず停車して左右の確認をしてください。
電車通りへの進入時も十分、注意してください。
- ・正門入って右側10枠は、他施設職員駐車場につき駐車できません。
- ・駐車場ではアイドリングストップにご協力ください。

★トイレ

- ・女性用：1F東、1F中央付近、2F西、3F東
- ・男性用：1F西、2F東、3F西
- ・多目的：1F中央付近

★その他

- ・教育センター研修に参加する際の留意点については、教育センターHPや実施要項等をご確認ください。
- ・アンケートを配付している場合は、お帰りの際に会場出口の回収BOXにお入れください。
- ・自動販売機：1F西階段下から屋外へ出たところにあります。
- ・敷地内禁煙です。



ぎらっと いざいざ ぎらっと
高知家の教育

研修で 県立中芸高等学校（特別教室棟 2 F 視聴覚室）を利用される皆さまへ

★避難経路

※緊急地震速報が発報されたとき

- ・揺れに備えてください。揺れが収まったら研修室正面の避難口からグラウンドに避難してください。
- ・避難口から避難できない場合、入り口を出て東階段もしくは西階段から避難してください。

※中芸高校は、田野町の地震・津波の避難場所です。

★AEDの設置場所

- ・1階玄関、3階東端、体育館正面入口に、1機ずつ設置されています。

★休憩や校内の経路

- ・休憩時間やお帰りの際は、授業時間と重なることが多いので、ご配慮ください。
- ・研修室から玄関までは、研修室直近の東階段を使用してください。

★トイレ

- ・2 F 中央（屋間部職員室前廊下を通り、校舎中程）をできるだけ利用してください。
- ・混雑する場合は、階段を上がって3 F 図書室前のトイレを利用ください。

★研修中

- ・所属等からの緊急連絡は、教育センター（平日 088-866-3890）へお願いします。
- ・携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ペットボトルや水筒等は、鞆等に収納してください。
- ・消しゴムかすは、研修室内の指定された所（箱）に捨ててください。

★情報端末及び記録媒体

- ・以下の留意点を踏まえたうえで、原則、使用可能です。
- ・ただし、校内の有線LAN及び無線LANへの接続はできません。

<留意点>

- ①公用の情報端末は、管理職の持出許可がある場合に限りです。
- ②録音、動画・静止画の撮影、資料の複写は、講師の許可がある場合のみ可能です。
- ③情報漏洩等、情報モラルについて厳守してください。

★自家用車等の利用

- ・校内の交通は、生徒を最優先とし、安全確保のため徐行運転をお願いします。
- ・県道から学校までの通路（坂道）は、スクールバスとのすれ違いが難しいため、坂道・学校敷地へは朝は9:00以降に進入、夕方は16:00以降の利用をお願いします。
- ・お帰りの際、正門手前及び坂道を下った道路手前で必ず一時停止し安全確認をお願いします。
- ・車は、グラウンド内東側にお停めください。
- ・事前に駐車位置をお知らせしている場合は、所定の場所に駐車してください。

★昼食

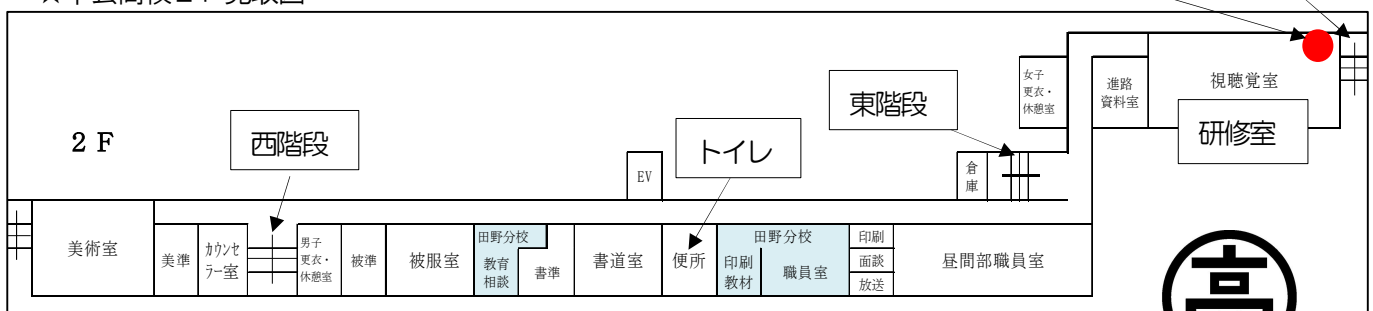
- ・本研修室を使用してください。空き箱等はお持ち帰りください。

★その他

- ・教育センター研修に参加する際の留意点については、教育センターHPや実施要項等をご確認ください。
- ・アンケートを配付している場合は、お帰りの際に出口の回収BOXにお入れください。
- ・敷地内禁煙です。

避難口 東非常階段

★中芸高校2 F 見取図



きもちいい あったかい
高知家の教育

研修で 県立大方高等学校（北棟3F TV会議室）を利用される皆さまへ

★避難経路

◇本研修室前の階段

※緊急地震速報が発報されたとき

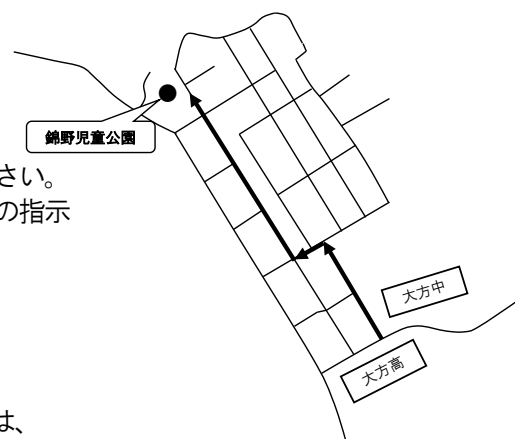
- ・揺れに備えてください。揺れが収まったら避難準備をしてください。
- ・大方高校は、津波避難場所（避難高台）になっています。職員の指示に従って行動してください。

※津波警報が発令されたとき

- ・1次避難場所の南舎屋上へ避難してください。

※大津波警報が発令されたとき

- ・1次避難場所の南舎屋上へ避難。敷地内で危険と判断した場合は、錦野児童公園（本研修室の北方向）へ移動。※ 職員の指示に従ってください。
- ・避難経路は、本研修室後方の掲示物で確認してください。



★AEDの設置場所

- ・南舎玄関ホール（運動場側）と、体育館2Fアリーナ入口に、1機ずつ設置されています。

★休憩や校内の通路

- ・休憩時間やお帰りの際は、授業時間と重なることが多いので、ご配慮ください。
- ・研修室から玄関までは、北舎東階段を使用し、1階の渡り廊下を通過して玄関までお願いします。

★トイレ

- ・本研修室前にあります。できるだけ北舎のトイレを利用してください。

★研修中

- ・所属等からの緊急連絡は、教育センター（平日088-866-3890）へお願いします。
- ・携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ペットボトルや水筒等は、鞆等に収納してください。
- ・消しゴムかすは、研修室内の指定された所（箱）に捨ててください。

★情報端末及び記録媒体

- ・以下の留意点を踏まえたうえで、原則、使用可能です。ただし、校内の有線LAN及び無線LANへの接続はできません。
- <留意点>
- ①公用の情報端末は、管理職の持出許可がある場合に限りです。
 - ②録音・動画・静止画の撮影、資料の複写は、講師の許可がある場合のみ可能です。
 - ③情報漏洩等、情報モラルについて厳守してください。

★自家用車等を利用されるとき

- ・校内の交通は、生徒を最優先とし、安全確保のため徐行運転をお願いします。
- ・お帰りの際、道路手前で必ず一時停止し安全確認をお願いします。
- ・車は、北門から入り、体育館北側のスペースまたは、体育館東側のスペースにお停めください。事前に駐車位置をお知らせしている場合は、所定の場所に駐車してください。

★昼食

- ・本研修室を使用してください。空き箱等はお持ち帰りください。

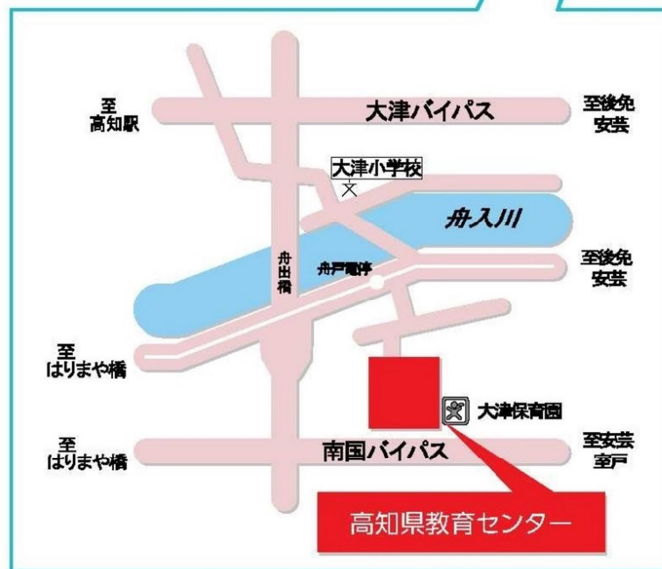
★その他

- ・教育センター研修に参加する際の留意点については、教育センターHPや実施要項等をご確認ください。
- ・アンケートを配付している場合は、お帰りの際に出口の回収BOXにお入れください。
- ・敷地内禁煙です。



きらっと いせいび あったかい
高知家の教育

《教育センター案内図》



アクセス

列車・電車をご利用の場合

- J R 土讃線 土佐大津駅より徒歩約15分
- とさでん交通 ごめん線 舟戸電停より徒歩約3分

車をご利用の場合

- J R 高知駅より約20分
- 高知龍馬空港より約25分